おとさだ
乙貞

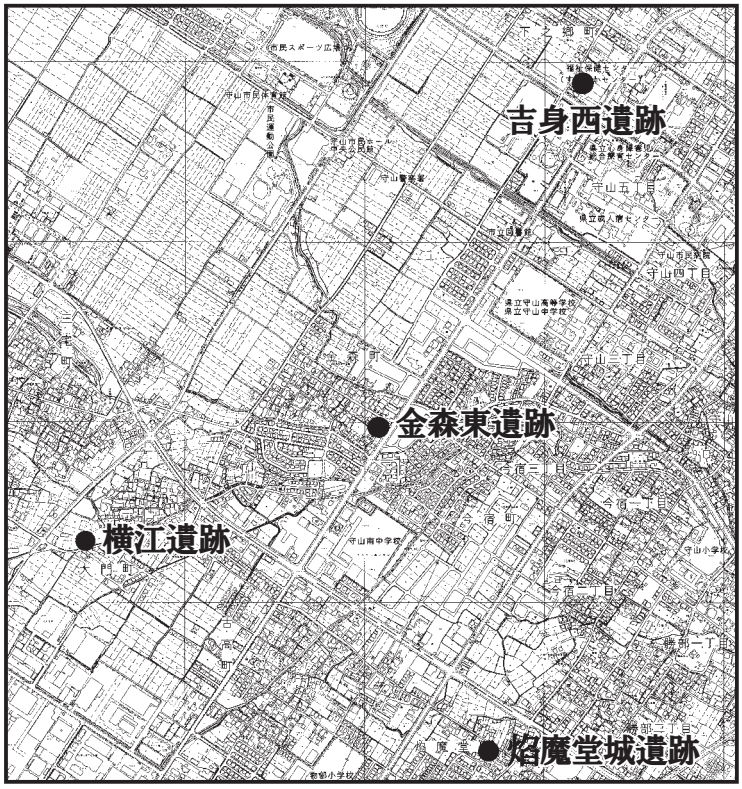
第189号　　通巻33巻　　第2号
平成25（2013）年 7月26日 発行

守山市立埋蔵文化財センター
TEL/FAX 077－585－4397

〒524－0212
守山市服部町2250番地

やや雨量の少ない梅雨の季節が過ぎた途端に、真夏を思わせる日々が続いています。炎天下の発掘調査現場では、熱中症に気を配りながらも、作業を行なっています。

さて、今号は、これまでに完了した発掘調査の成果の紹介とともに、埋蔵文化財センター友の会の活動のようすと、残席もあとわずかになった歴史入門講座の案内を掲載いたします。

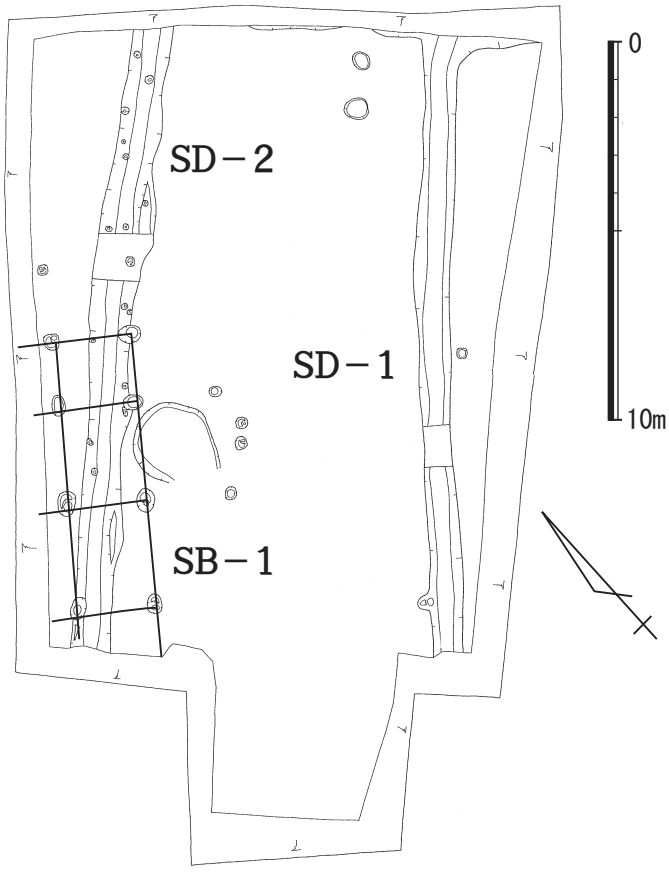


● 発掘調査の成果 ●

(1) 金森東遺跡（かねがもりひがし） 第54次調査

金森町字大上言において、宅地造成工事に伴い、約280㎡を対象に発掘調査を実施しました。調査の結果、古墳時代前期の溝SD-2、平安時代後期から鎌倉時代と見られる溝SD-1と掘立柱建物（ほったてばしらたてもの）SB-1などが見つかりました。SB-1は、３間×１間以上の規模で、柱穴内から土師器（はじき）や黒色土器椀（こくしょくどきわん）の破片などが少量出土しました。SD-1は、北東－南西方向の溝で、調査地の東端でT字状に屈曲しており、屋敷地内を区画していたものと考えられます。（小島）

金森東遺跡 全景



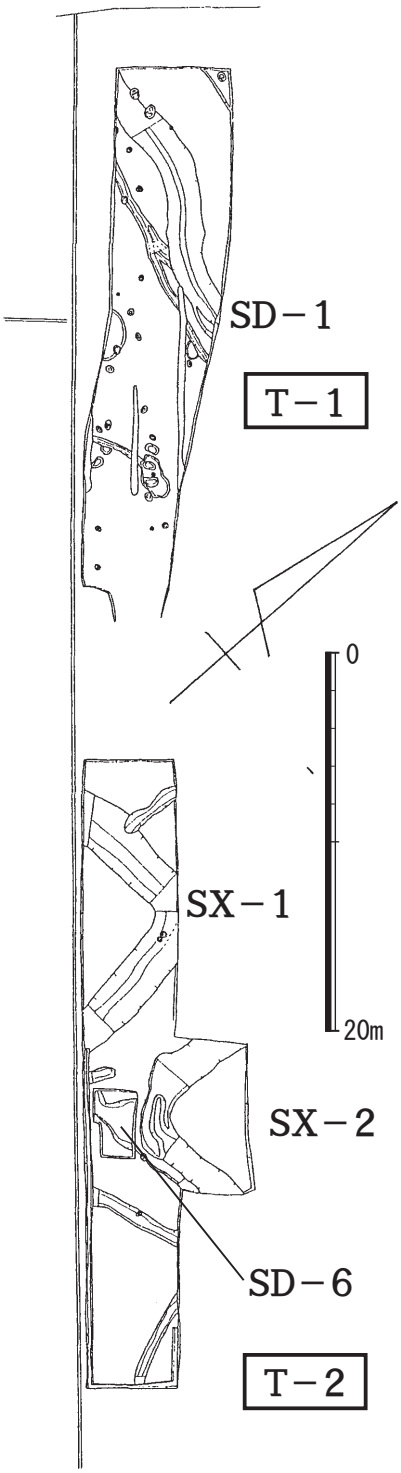
金森東遺跡　全体平面図 (S=1/200)

(2) 吉身西遺跡　第 105 次調査

下之郷三丁目字下鎌田において、宅地造成工事に伴い発掘調査を実施しました。Ｔ－１、Ｔ－２の２箇所の調査区を設定して調査を進めた結果、Ｔ－１からは古墳時代前期の溝 SD-1、Ｔ－２からは縄文時代後期の溝 SD-6 と弥生時代中期後半から後期とみられる方形周溝墓２基 (SX-1､2) などが見つかりました。

縄文時代後期の溝 SD-6 は、溝内から深鉢の破片がまとまって出土しました。しかし、検出した部分の多くは後世の遺構に壊されており、溝の性格など詳細なことは不明です。

方形周溝墓は、一辺が６ｍ以上の規模で、東西に２基並ぶ形で検出しました。この地域にみられる“列状墓”の特徴をもっており、中央の空閑地が墓道と考えられます。出土遺物が少ないため、詳細な時期については今後検討が必要ですが、弥生時代の集落と墓域のあり方を考える上で、貴重な資料を追加できたといえるでしょう。(小島)



吉身西遺跡　全体平面図 (S=1/400)

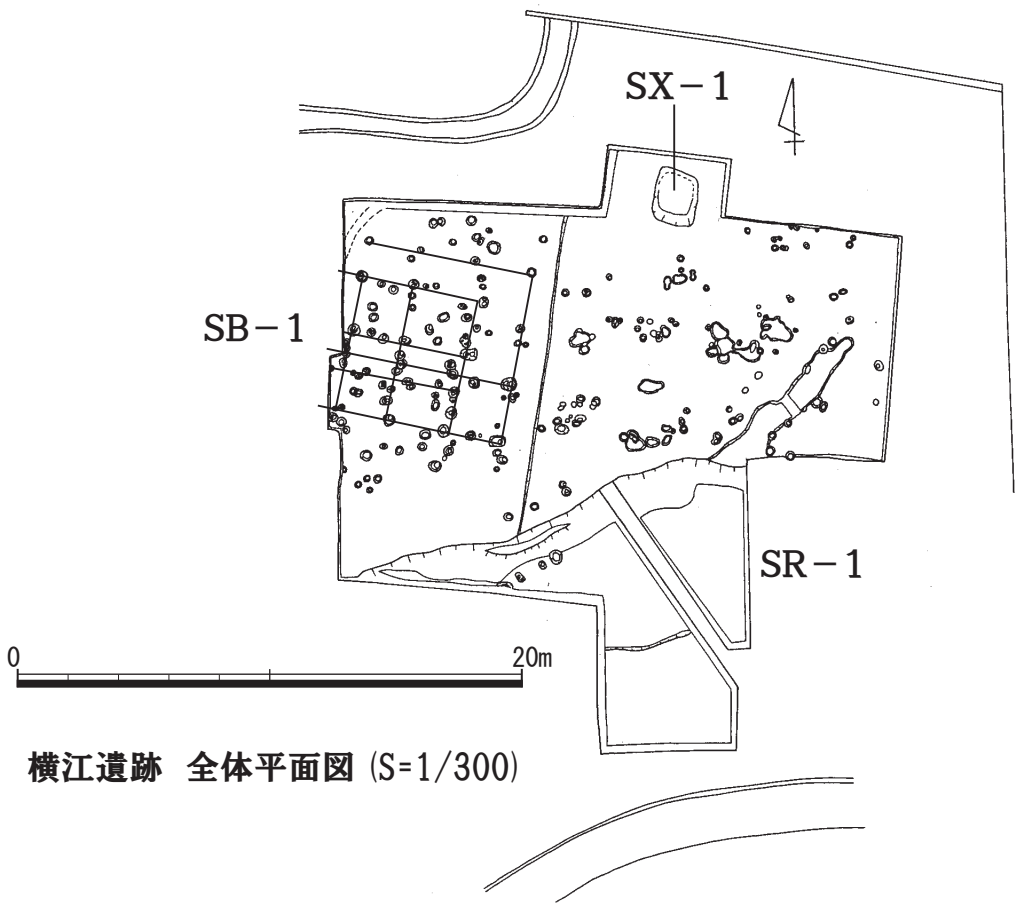
(3) 横江遺跡　第9次調査

大門町字西街道において、老人福祉施設建築工事に伴い、５月上旬から６月上旬にかけて発掘調査を実施しました。

調査の結果、掘立柱建物跡 SB-1 や井戸跡 SX-1、自然流路 SR-1 が見つかりました。掘立柱建物 SB-1 は、全容は検出されていませんが、さらに西側に広がると推定されます。梁間３間以上×桁行２間以上の建物跡で、柱穴のほとんどは直径20～30cmでした。柱穴から、土師器皿や黒色土器が出土しており、鎌倉時代から室町時代にかけての建物跡と考えられます。建物の南には自然流路 SR-1 が検出され、底面から土師器皿や黒色土器椀などが大量に出土しました。調査区の北端で検出された井戸跡 SX-1 は、深さが２m以上あり、素掘りのものでした。井戸からは、小片ながら磁器が出土しており、近世以降に埋もれたものと考えられます。(川畑)

横江遺跡　北東部　全景

掘立柱建物 SB-1



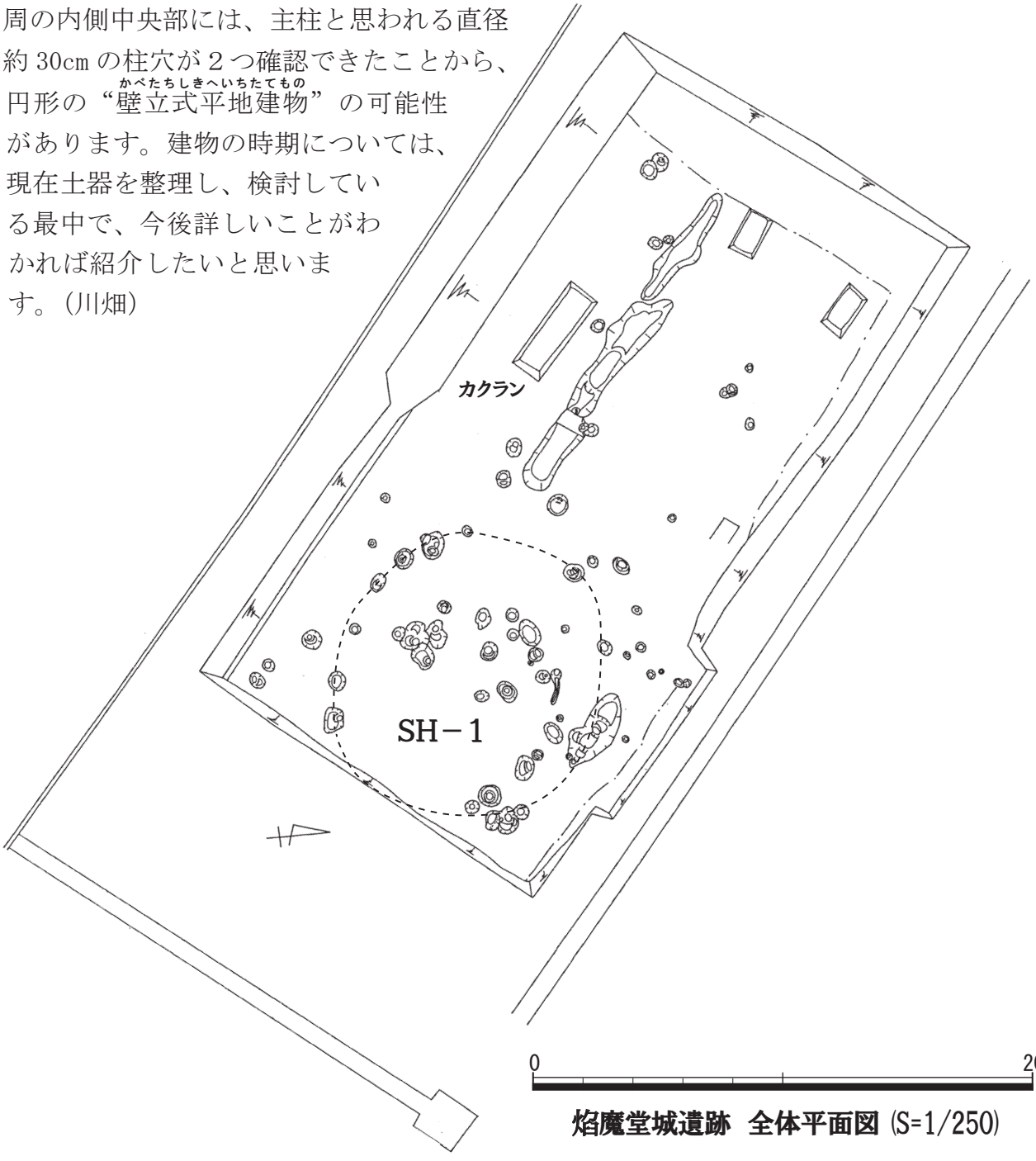
横江遺跡　全体平面図 (S=1/300)

（4）焔魔堂城遺跡　第5次調査

焔魔堂町字西浦地先において、分譲住宅地造成工事に伴い、６月中旬から７月上旬にかけて、発掘調査を実施しました。

調査の結果、弥生時代から古墳時代にかけての柱穴や溝跡を検出できました。調査区の東側で見つかった柱穴は、直径約 14 m の円周上に柱が並ぶ部分が確認できました。柱穴は、深さ 50cm 以上掘られているものもあり、直径 20cm 前後の丸太の柱が、垂直に立てられていたことが推定されます。円周の内側中央部には、主柱と思われる直径約 30cm の柱穴が２つ確認できたことから、円形の“壁立式平地建物”の可能性があります。建物の時期については、現在土器を整理し、検討している最中で、今後詳しいことがわかれば紹介したいと思います。（川畑）

壁立式平地住居



焔魔堂城遺跡　全体平面図 (S=1/250)

● 埋蔵文化財センター友の会　活動日記 ●

埋蔵文化財センター友の会では、年間に計５回の見学会を開催しており、県内外の文化財に関連する施設を見学しています。今年度は、５月 25 日（土）に大津市の坂本方面、７月 14 日（日）に米原市を訪れましたので、その模様をご紹介します。

（1）第一回見学会「石積みの門前町　大津坂本をめぐる」
大津市坂本　　平成 25 年5月 25 日（土）参加者 28 名

第一回見学会では、大津市坂本の「公人屋敷」「旧竹林院庭園」「日吉大社」を訪れました。新緑に映える庭園や、神社はとても素晴らしいものでした。日吉大社では、宮司さんが裏話を交えながら、楽しく案内してくださいました。日吉大社の広い境内をぐるっと一周、一時間以上も楽しい話を聞かせていただきました。

日吉大社

旧竹林院

（2）第二回見学会「湖北の涼　京極氏ゆかりの寺院と幽霊画」
米原市清滝、醒井　　平成 25 年7月 14 日（日）参加者 31 名

第二回見学会では、涼を求めて、米原市の「清瀧寺徳源院」「醒井宿」「青岸寺」を訪れました。清瀧寺では、住職から京極家の歴史と、京極家の精神的拠り所である同寺の説明をいただきました。また、寺に所蔵されている“幽霊画”を見せていただき、ひんやり涼しい気分を味わうことができました。

青岸寺

清瀧寺

埋蔵文化財センター友の会　年会費 2,000 円
（見学会参加の場合は、別途費用が必要です。）
詳しいことは、下記へお問い合わせください。

守山市立埋蔵文化財センター
TEL/FAX ： 077−585−4397

● 歴史入門講座のご案内 ●

埋蔵文化財センターでは、今年度も６月から歴史入門講座を開催しています。

今年のテーマは「近江の“みち”ものがたり」です。近江に関わるさまざまな“みち”と、そこにに携わった人々やかつての社会の動向をひも解き、“みち”を通して近江の歴史をわかりやすく解説していきます。

今年度は、すでに６月と７月の２回の講座を終えています。“近江のみち”をテーマにしたのは、今年度が初めてですが、各講座ともにたくさんの参加者があり、おおむね好評をいただいております。

残り４回となった講座ですが、わずかですが残席のある回もあります。講座の申込み期間を逃してしまった方、これまで講座のことを知らなかった方など、もし歴史入門講座に興味を持っていただいた方は、気軽に埋蔵文化財センターへお問い合わせください。

真夏の猛暑の中、涼しい環境の中で、専門の先生方のわかりやすく楽しい話を聞きながら、守山や滋賀県の歴史の謎を解き明かす講座に参加してみませんか？

第1回目の講座のようす

【全体テーマ】　**『近江の“みち”ものがたり』**

【講座日程】

第３回８月 17 日（土）　「湖上のみちー古代の大動脈・琵琶湖航路ー」
講師　横田　洋三さん（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）

第４回９月 21 日（土）　「天下統一へのみちー信長と琵琶湖ー」
講師　岩橋　隆浩さん（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）

第５回 10 月 19 日（土）　「江戸時代のみちー中山道と近江の宿場ー」
講師　八杉　淳さん（草津市立草津宿街道交流館館長）

第６回 12 月 21 日（土）　「みずのみちー琵琶湖疏水の歴史ー」
講師　神保　忠宏さん（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）

【開催場所】　市立埋蔵文化財センター２階会議室

【開催時間】　午前９時 30 分から 11 時 30 分まで

【受 講 料】　１講座あたり 200 円。（当日の受付時に徴収いたします。）

【そ の 他】　残席の確認は、埋蔵文化財センターへお問い合わせください。
（当日の飛び込み参加では、満席時に席が用意できない可能性があります。）

機関紙『乙貞』は守山市のホームページ（http;//www.city.moriyama.lg.jp）からも閲覧できます。